

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	だいじ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月17日		2025年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 1月24日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の職員がまじめでお子さんをかわいがっている。丁寧な支援に努めている。		丁寧な支援が自立を促す支援の弱になりがちなのがあるので、一層勉強して適切な支援ができるように努めます。
2	作業療法士、言語聴覚士による評価や支援が行われる	専門的支援計画に基づいた支援	作業療法、言語療法の視点が優先にならないよう、生活や遊びの力を伸ばす支援に努めます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員自身が自分たちの支援をよくできていると評価し、改善して向上しようという意欲が低い。	女性の特性か、自分の都合に合わせた仕事に変えていく傾向があり、真にお子さんのために必要な支援を行いたいという欲求が低い。	社会福祉・児童福祉の理念に立ち返り、職員の職業生活はお子さんやご家族の福祉に資することで支えられていると考えるような職員集団をつくっていくよう努めます。
2	お子さんの行動や支援の課題に対して、安直で浅薄な評価を行い、対処法を探そうとして、深い理解をしようとしません。	何らかの療法の対処法を使えばよいと流れがち。誰かに聞いて教えてもらおうとしがちである。	お子さんをお育てする仕事は、問題への対処法の底に深い子ども理解と愛情がなくてはならないので、人生観、子ども観、哲学、倫理を学んでいきます。また、お子さんの生活全体を視野に入れられるよう学びます。
3	計画に基づいた支援にうまくつながっていない。	計画の作成に遅れや不十分な部分があり、職員間での共有がうまくいかない面もある。	計画の見直しを適宜行って、よりよい支援につなげていきたい。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 だいじ

公表日 2025年2月25日

利用児童数 2025年2月5日

回収数 13

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		館内や屋外等を柔軟に使うことで活動できるよう、支援の向上に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1		配置の人数の基準と現員数を明示します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0		研修等を重ね、専門性を高めていけるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		成長に伴う変化等に対して、随時計画の見直しを行い、自立に向けた支援をしていけるよう努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		保育所等訪問支援事業等も活用しながら、学校生活が充実するよう努めます。また、徒歩下校や自立に向けた生活に対して段階的に取り組めるよう、具体的な支援について検討していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		より良い支援につなげられるようにしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	1		プログラムに変化を持たせ楽しみながら療育が行われるように工夫します。
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	0	1		交流に努めます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		今後も丁寧な説明に努めていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		支援内容について具体的に説明し、ご家庭等と一緒に成長を後押ししていけるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	0	0		保護者の情報交換の機会だけでなく、研修会も企画します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		今後とも情報交換に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		面談の機会を増やしていけるように努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	13	0	0	0		保護者会を継続して開催しながらも、きょうだいへの支援についても検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0		面談の機会を増やしていけるように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		より分かりやすいものに出来るよう、職員の資質向上に努めます。
非常 時 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	0	0		現在は毎月のおたよりのみで、ホームページには活動の様子は載せていません。行事予定については掲載するようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		個人情報の取り扱いに留意しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	2		各マニュアルを周知・説明が十分に行われるように努めます。訓練を定期実施して、おたよりに掲載しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	2		訓練について、お便りやHPに掲載するように努めます。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		安全確保の計画について周知するよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	0		適宜実施するよう職員間で周知していますが、継続して取り組んでいきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0		満足していただけるように今後とも一層努めます。

## 公表 所における自己評価結果

事業所名	だいじ	公表日		2025年 2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・ホールのような天井の高くて広い部屋があると、体の大きい子は特に発散しやすいと思います。 ・一人でクールダウンをしたいときや休憩するスペース、体調を崩したときに使用する部屋が足りない時がある。	屋外遊びをできるように活動の工夫をしていきたいです。 また、部屋の使い方も固定観念を捨てて工夫していきたいです。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・人数は適正だと思うが、業務効率等考えながら支援の充実を図る。 ・放デイで1対1で対応しているお子さんの利用日や訪問支援が入っているときは難しい。 ・1対1で対応する子がこれ以上増えると足りなくなります。	お子さんの自立を促す適正な支援について学習し、職員の質の向上を図る取り組みによって解決を図っていきたいです。また、現在は全職員が一斉に1時間の休憩をとることに固執しているので、休憩時間をずらすなど、工夫の余地がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	7	0	・アップデートしていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		もう少し楽しい刺激が与えられるような環境を作っていきたいです。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		柔軟に使用できるよう工夫していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・なかなか改善につながらず課題を感じている。（回答は「はい」）	目標の提示が苦手なため、職員の意識向上が難しく、改善を図りたいです。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		打ち合わせや会議が漫然と行われるため、目的や結論を明確化するよう、ファシリテーション改善に努めます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		外部評価の機会があまりないため、受診を検討します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・アセスメント後、修正していくスピード感到に欠けており、改善に努める。	適切な処遇ができるように職員の資質向上に努めます。	
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・必要に応じてすぐに実施できるよう改善途中である。 ・適宜ケース会議を開催している。	ケース会議等の機会などを通し、成長に伴う変化に対して適宜検討を繰り返していけるように努めます。	
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援内容がより具体的で分かりやすいものになるよう改善する。	計画に基づいたPDCAサイクルが上手く機能出来るよう、職員への情報共有に努めます	
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・フォーマルなアセスメントの機会は少ないが、日々の行動観察等で確認している。	アセスメントツールの活用を検討し、支援の向上につなげていけるよう努めます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のバリエーションを増やせるよう検討しながら取り組んでいる。</li> <li>・利用者にあった余暇の活動を提供するようにしている。</li> </ul>	楽しく遊び遊びの中で伸びていけるように、また、生活面での自立を促せるような支援内容になるよう、研修等を通し職員の資質向上に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		固定化したり漫然と行っている支援活動を自覚できない面があるので、資質向上に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間が異なるため難しいが、共有したいところはホワイトボードや「シナリオ」と呼んでいる予定表に反映している。</li> <li>・送迎は確認している。</li> </ul>	朝会の中で、その日の予定や留意事項等も確認するように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずではないので、できるようにしていきたいです。</li> <li>・気になることや成長したことなどを自分から話すようにしている。</li> </ul>	現在は連絡ノートやPC上の記録を各自見るようにしていますが、必ず打ち合わせを行うように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを抑えて記録できるよう、子どもたちの課題の共有を図る。</li> <li>・長期休みになると記録をとる時間が間に合わない。</li> </ul>	記録を適切に効率よく記載できるように、職員の資質向上に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっている「つもり」にならないよう、支援について振り返りをしていく。</li> <li>・「シナリオ」（活動予定表）と自己決定のバランスが難しいと思う日々です。</li> </ul>	自立に向かう支援について学び、職員の資質向上に努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携強化を図りたい</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜行えるよう、年間で計画的に進め、連携強化を図りたい。</li> </ul>	計画的に日程を調整しながら、情報共有できるように努めます。また、適宜実施できるよう、関係作りに努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		必要に応じて情報共有できるよう、連携を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無回答 1</li> <li>・対象児、事例なし 6</li> <li>・勉強不足です。</li> <li>・今後そうした事例があれば、情報提供等丁寧に対応していく。</li> </ul>	今現在は対象となるお子さんはいませんが、今後の為に自立支援協議会等を通し、連携を図っていければと考えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		必要に応じ、適宜実施していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		敷地内の保育園と交流の機会を設けています。今後も続けていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無回答 1</li> </ul>	取り組みについて、職員への周知に努めます。

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・行事を利用し、普段の事業所での支援の様子を参観して頂いて声かけなどのポイントを伝えた。 ・研修会も実施したい。	保護者会を通して意見交換の場は設けていますが、研修会の開催に向けても計画的に進めていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・「だいじなおてがみ」という定期通信の発行して、活動内容、プライバシーに配慮して写真を載せることもある。	今後も情報発信に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・事業所の行事に近隣の保育園の子どもたちを招いて交流した。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・マニュアルの周知は家族にはしていない。	安全計画以外マニュアルもHP上に記載します
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・連絡ノートを活用したりしている。	アセスメント時にもれなく確認し、職員への周知に努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・本人、保護者の申し出で対応、配慮している。 ・指示書はもらっていない。 ・保護者の申し出により除去している。	医師の指示書をもらうように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・適宜修正中	HP上に記載しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		
----	--	---	---	--	--